

日本共産党向日市議会議員団



今年もよろしくお願ひします！

水道料金は大幅値下げを！

京都府営水道事業経営審議会の最終報告によると令和2年以降料金が改定され乙訓系は減額される予定です。向日市の受水量が変わらなければ2800万円減額になります。安田市長は値下げすると議会で答弁しました。水道広域化の動きがありますが乙訓地域には豊富な地下水があり、地下水中心の水道事業にしておくことは、災害対策や職員の技術の継承の視点からも重要です。

向日が丘支援学校寄宿舎の存続を

向日が丘支援学校は、1967年に京都府初の特別支援学校として開校。京都府教育委員会から出された建て替え中間案の中には寄宿舎の計画がなく、「生活体験型実習室」に変更されています。保護者や教職員、多くの市民から寄宿舎の存続を求める署名は1万8千筆を超えています。寄宿舎は、かけがえのない大切な学びの場であり、自立と社会参加への力を養う大切な場所であると、京都府教委へ存続を求めるよう要望しました。

有料の指定袋をやめ、ごみ減量対策は市の努力を！

「ふるさと向日市創生計画」のごみ減量目標はひとり一日あたりの排出量を510gとしています。平成29年度は524gで目標まで約20gです。資源ごみの終日回収拠点の増設を求めたところ、「よい候補地があれば設置する。」と答えました。ごみ問題は市民全体に関わるので自治会への説明会を要求したところ「説明会は行う」とのことです。引き続き有料の指定ごみ袋の導入をしないよう求めています。

*12月17日「ごみ問題を考える市民の会」が679筆のごみ指定袋の有料やめと向日市長に第一次要望署名を提出されています。



←新設分別ステーション

不透明な大型開発を明らかに



←洛西口駅西側の計画図



←JR向日町駅東口
開設予定地

向日市では7つの大きな開発が進められています。JR向日町駅東口開設、森本東部地区開発、阪急洛西口駅西側開発などいずれも劣らぬ大きなものです。どの計画も向日市に変化を感じさせるかもしれませんが、一方で、市民の税金が投入されるものでもあります。7つの開発のうち特に大きなJR向日町駅、森本東部、洛西口駅西側で共通して言えるのは、

計画の全体像、防災、環境、財政などの大事なところが民間任せや相手次第になってしまっている事です。開発について大事な点がはっきりと分かっていません。問題は、それでも、開発を先に進めようという姿勢です。すでに出されている市民の懸念や疑問に積極的に答える姿勢こそが、ふるさと向日市創生に必要なのではないのでしょうか。

市役所東向日別館前の早急な駐輪対策を

市役所東向日別館の出入り口前は、自転車があふれており、車椅子利用者や配慮の必要な方の通行をさまたげる状態になっています。

今議会でも早急な対策を再度求めたところ、「市役所入り口付近の駐輪ラックを撤去し自転車の進入を禁止する」「点字ブ

ロックを新たに敷設」「午前8時30分～午後5時に駐輪ラック全体の駐輪整理員を配置する」とのことです。引き続き安心して利用出来る市役所へと求めてまいります。

「子どもの医療費助成を速やかに
中学校卒業まで無料に」 請願採択！

新日本婦人の会提出

本請願は日本共産党議員団の6名はじめ4人の議員が賛成し、自民・公明・維新が反対しました。1363名の賛同を得て新日本婦人の会向日支部から提出された請願内容は9月1日から長岡京市はじめ26自治体中21自治体の実施されているものです。向日市は遅れています。9月から子どもの医療費の府補助金も増額され、市負担は大幅に減っています。中学校卒業まで無料を速やかに実施するべきだと党議員団は賛成しました。

